

# 令和2年度 モニタリング調査予定について（案）

令和2年9月10日



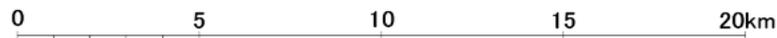
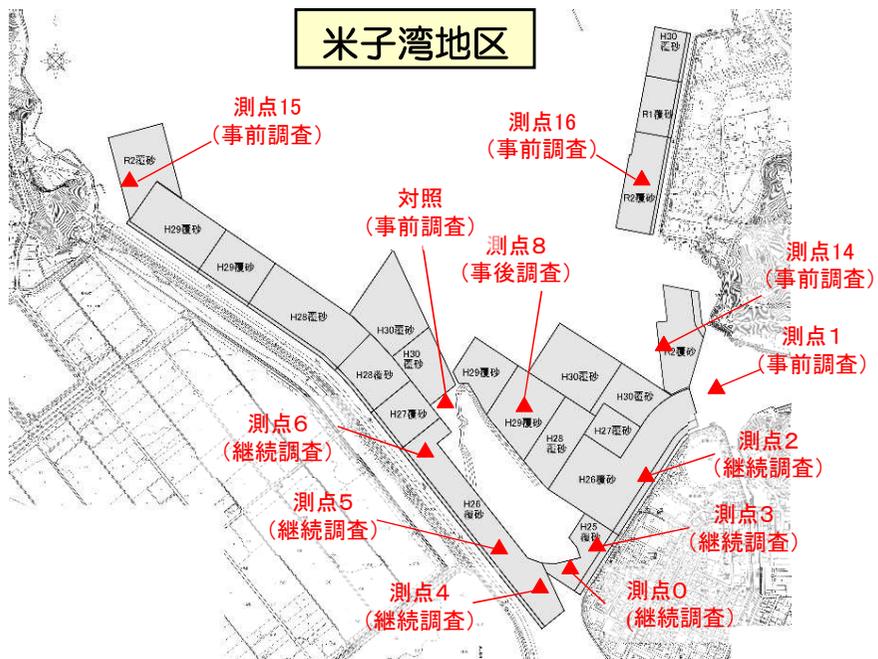
国土交通省 出雲河川事務所

# ◆令和2年度モニタリング調査箇所

<全体>

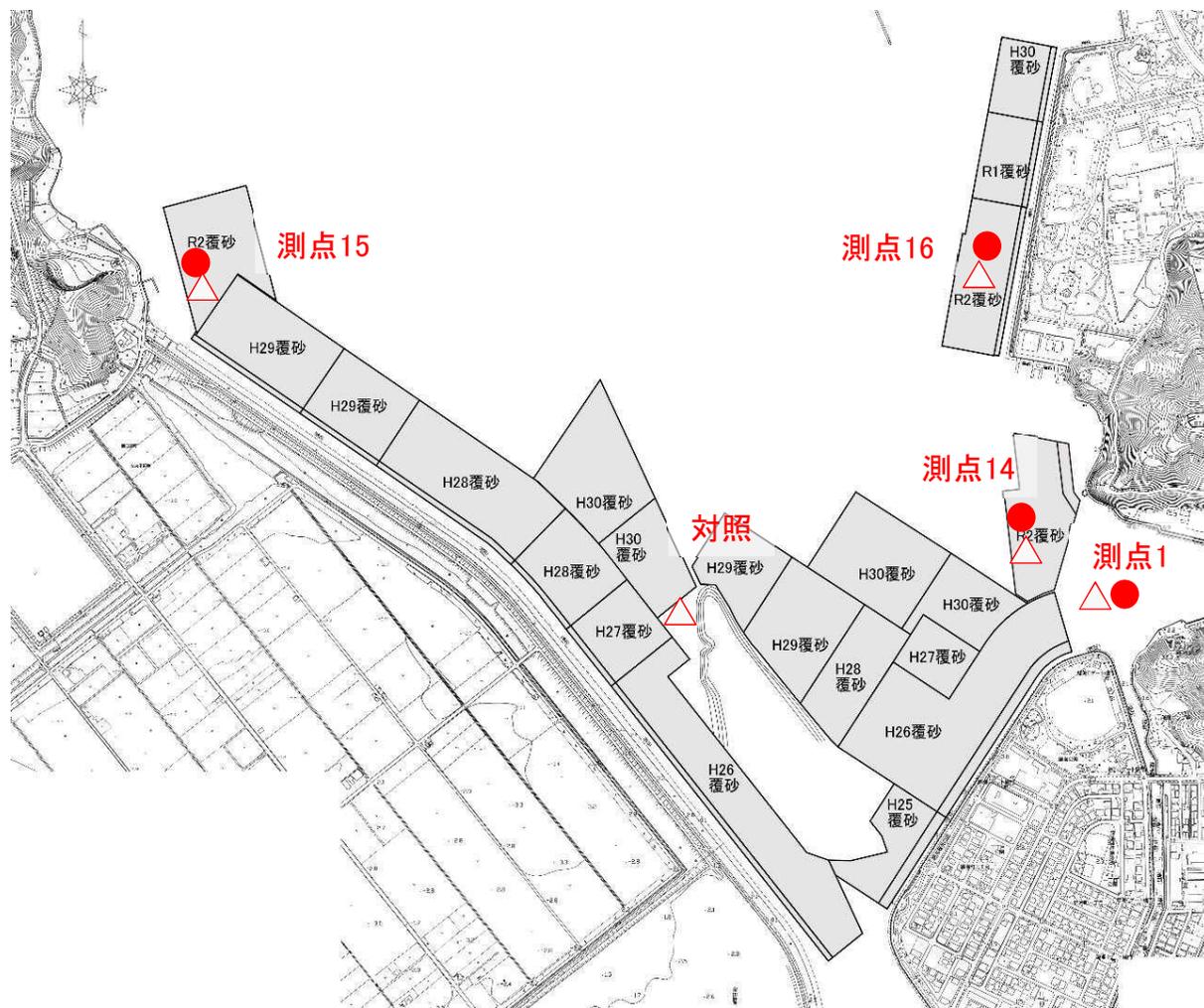


米子湾地区



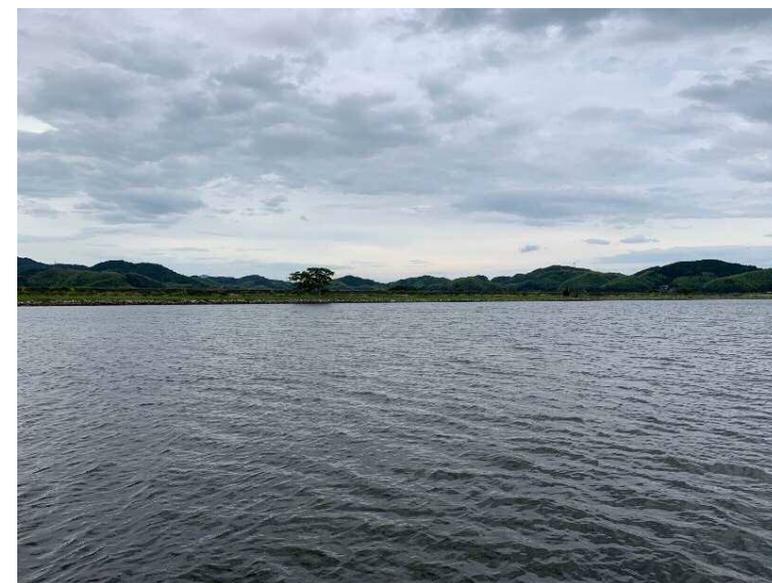
# ◆ 令和2年度モニタリング調査内容

調査箇所		調査項目	回数・時期	
中 海	米子湾地区 ▲測点14,15,16,対照	事前調査	水質調査	1回(夏季)
			底質調査	1回(夏季)
			主要二枚貝調査	2回(夏季、秋季)
	米子湾地区 ▲測点8	事後調査	水質調査	1回(夏季)
			底質調査	1回(夏季)
			主要二枚貝調査	2回(夏季、秋季)
米子湾地区 ▲測点0,2,3,5,6	継続調査	新生堆積物調査	1回(夏季)	



調査地区の状況（令和2年7月）

調査項目		地点数	調査時期	備考
△	水質・底質調査	5地点	夏季	主要二枚貝調査と同じ測点
●	主要二枚貝調査	4地点	夏季・秋季	令和2～3年度覆砂計画箇所



調査地区の状況（令和2年7月）

調査項目		地点数	調査時期	備考
△	水質・底質調査	1地点	夏季	主要二枚貝調査と同じ測点
●	主要二枚貝調査	1地点	夏季・秋季	H29年度事前調査の測点8

# ◆物理環境調査：水質調査（底泥直上水・底質間隙水）

## 調査目的

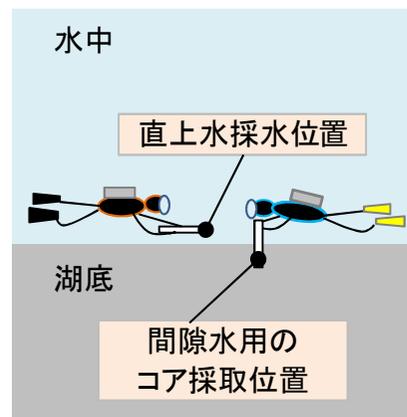
- 浅場整備・覆砂前の底泥直上水・間隙水の把握（事前調査：米子湾地区）
- 底質改善の効果の把握（事後調査：米子湾地区）

## 調査内容・項目

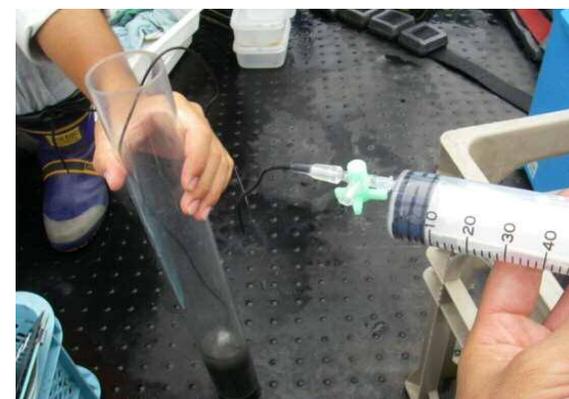
- アクリル管等を用いて、底泥直上水と底質中の間隙水を採水し、底泥直上水及び底質間隙水中の無機態窒素（ $\text{NO}_2\text{-N}$ 、 $\text{NO}_3\text{-N}$ 、 $\text{NH}_4\text{-N}$ ）、無機態リン（ $\text{DPO}_4\text{-P}$ ）を分析する。
- 多項目水質計を用いて、表層、0.5m、以下0.5m毎に底上までの水温、塩分、DOを測定する。

## 調査時期・回数

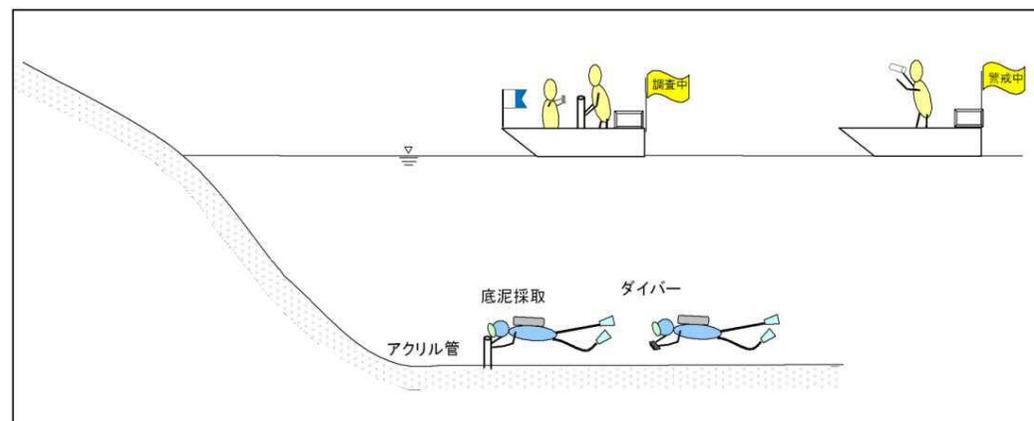
- 夏季に1回実施



調査位置のイメージ



間隙水吸引状況



# ◆物理環境調査：底質調査

## 調査目的

- 覆砂前の底質の状況及び底質と底生生物との関係を把握  
(事前調査：米子湾地区)
- 底質の安定状況、底質の状況及び底質と底生生物との関係を把握  
(事後調査：米子湾地区)

## 調査内容・項目

- 主要二枚貝調査と同地点において、透明なアクリル管（径5～10cm程度）を用いて、底土をコア採取し、**底泥の堆積状況**を目視観察して、**底質の層**を確認する。
- 採泥器等により深さ10cmまでの泥を採取し、**粒度組成、硫化物、強熱減量**を分析する。

## 調査時期・回数

- 夏季に1回実施



底質調査の状況

# ◆物理環境調査：新生堆積物調査

## 調査目的

- 覆砂効果の持続性を確認するため新生堆積物の状況を把握  
(継続調査：米子湾地区〔令和2年度で6年目〕)

## 調査内容・項目

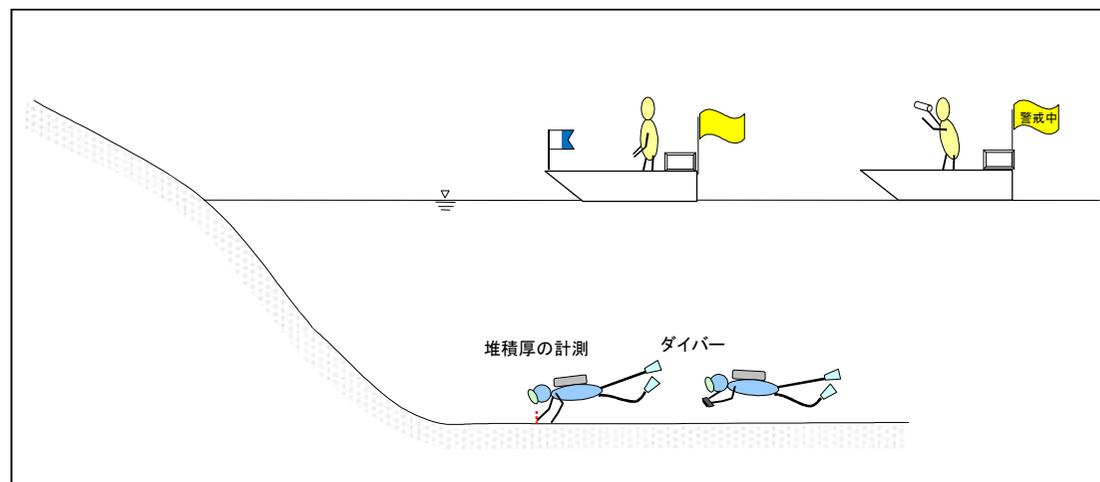
- 折尺等を用いて、底質表層の新生堆積物の堆積厚を計測する。
- 新生堆積物の堆積厚を計測した箇所の写真を撮影する。



折尺

## 調査時期・回数

- 夏季に1回実施



# ◆生物調査：主要二枚貝調査

## 調査目的

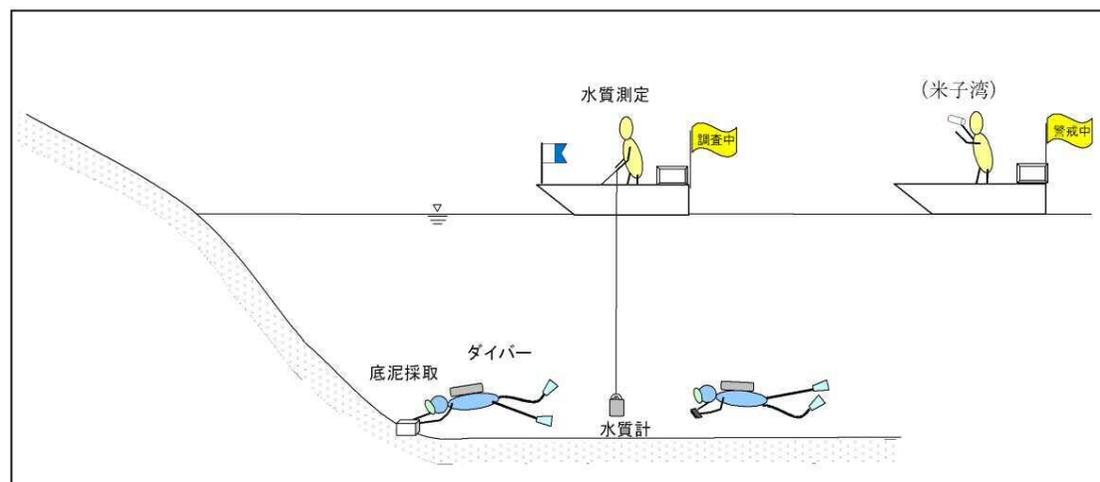
- 覆砂前のアサリ・サルボウガイ等底生生物の生息状況を把握  
(事後調査：米子湾地区)
- アサリ・サルボウガイ等底生生物の定着状況を把握  
(事後調査：米子湾地区)

## 調査内容・項目

- 25cm×25cmの方形枠内の深度10cm程度までの底生生物を含む底土を2回採取し、ふるいにかける(事後は事前のふるい目と同じとする)。
- ふるい上に残った底生生物について、種、種数、個体数、殻長(主要二枚貝)、湿重量を把握する。

## 調査時期・回数

- 夏季・秋季の2回実施



25cm×25cm方形枠



主要二枚貝調査の状況 資料6-8